

医薬品の開発と評価(2)

[履修要件]

本コースの前週まで講義が行われるM402001「医薬品政策・行政」と連続、一括した内容となっており、原則として通して受講できない方は受け入れ不可とします。

[成績評価の方法・観点]

〔成績評価の方法・観点及び達成度〕
講義の場への参加（50%）、レポート（50%）

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
安生紗枝子ら『新薬創製への招待：開発から市販後の監視まで』（共立出版, 2006.）
川上浩司, 漆原尚巳, 田中司朗（監修）『ストロムの薬剤疫学』（南山堂, 2019.）

[授業外学修（予習・復習）等]

適宜予習復習を求める。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。